

3年半しか経っていない！ 福島原発事故。

福島の甲状腺ガンの子どもの増加

福島の子供 30万人の検査結果から
通常の発生率は、100万人に1人

	2012・9	2013・6	2013・8	2014・5	2014・8
甲状腺ガン	1人	12人	18人	50人	57人
疑い	0	15人	43人	39人	47人
合計	1人	27人	61人	89人	104人

セシウム 137 の半減期は 30 年

福島から250キロ離れた秩父にも、放射性物質の比較的軽いセシウム等が風と共に飛ばされてきました。
雨に流され、風に飛ばされ…でも移動しただけで、無くなつてはいません。皆野町の当方宅の雨樋の土は5万ベクレルもありました。
呼吸で肺に取り込んだ放射性物質はより危険で、血管をとおり全身に運ばれます。

「みんなの測定所 in 秩父」で、秩父郡市内で捕獲した鹿2頭を測定したところ、やはり、骨格筋や脳への蓄積が多いことがわかりました。

この先どんな病気が増えてくるのか、とても不安です。

避難している福島県民は、いまだ12万人もいます。

しかし、政府は、「原発事故収束宣言」を出し、避難区域を解除し補償を打ち切り、帰郷をすすめています。

家や畑を追い出され、仕事をなくし、補償を切られ…こうなったのは原発の所為。

ベクレルとシーベルト

ベクレルとは、牛乳や野菜など1kgから一秒間に出す放射線という矢の数、そこから人体が受けるダメージの量をシーベルトで表します。

100ベクレルのセシウムを一年間摂取りつづけると、人体に及ぼす影響は0.475ミリシーベルトです。年間規制基準は1ミリシーベルト。

東電はなぜ責任をとらない！

原発事故の賠償や除染費用等少なくとも1兆円にのぼるといわれています。

公害や薬害と同じように、まずはその企業・東電が優良資産を売却し、投資した銀行や株主にも責任を負わせるべきです。事故対応費用のほとんどは税金と電気料金への上乗せで負担を国民に押し付けています。東電の決算は黒字というおかしな状況です。

事故の責任も取らず、費用負担もしなくていいという「しくみ」を政府が作りしました。だから、電力会社は、無責任にも「原発の再稼働」をすすめようとしています。

現在、国内の全原発は休止しています。休止中も原発の維持費・毎年1兆円が電気料金に上乗せされています。危険な原発は前倒しで廃炉すれば、経済的で安全で電気料金も安くなります。

議員のひとりごと

常山 知子

私の知り合いの娘さんは、東京にある大きな図書館に勤めています。以前は自治体が運営していましたが、現在は民間会社に委託。女性の多い職場で、彼女を含めそのほとんどが、人材派遣会社からの派遣社員。採用の見直しがあり提示された賃金は、今までより低くなったと怒っているそうです。

安倍首相は最近よく「女性が輝く日本」という言葉を使います。先口、内閣改造、自民党役員人事を行いました。その中に5人の女性議員を閣僚に起用し「新鮮味」をアピールしましたが、やろうとしている政治の中味は変わりません。本当に「女性が輝く日本」というなら「残業代はゼロにしましょう」「派遣労働への規制は取り払きましょう」「そんなことを言っていないで、「雇用は正社員があたり前の社会」それこそ女性が生き生きと輝き働ける社会ではないでしょうか。

大企業の内部留保を賃上げに！

原発ゼロこそ経済に展望ひらく！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

町議会議員

常山 知子

電話・FAX

62-6733